



2025年3月号  
第36号

# 地域支え合い推進員だより

## ◆第2回ふれあい・いきいきサロン連絡会を開催しました◆

2月3日から7日の5日間にかけて、第2回ふれあい・いきいきサロン連絡会を開催しました。この連絡会は、各サロンの代表者やボランティアの方にお集まりいただき、サロン活動に役立つ情報提供や提出物についての説明と意見交換会を行いました。意見交換会では、各サロンの活動を共有し、参考にさせていただくとともに、サロン同士の繋がりづくりを目的として行っています。

また、地域包括支援センターや市役所等の関係機関にも出席していただきました。



意見交換会の様子

今回の意見交換会では、「今年度やってよかったサロンの取り組み」をテーマに話し合いました。やってよかった取り組みとして、抹茶を点てる、ぜんざい、田楽、豚汁作り等の季節に合わせた企画や地域住民の方の特技を活かした手打ちそばの振る舞い、ギター演奏、お誕生日会でのポートレート撮影。また、老人クラブや子ども会との合同企画や長期休暇での子どもとできるバルーンアート等、サロンを盛り上げるために地域の繋がり等を活かしながら、様々な取り組みを企画されていました。



地域包括支援センターや市役所より出前講座等の案内

## ◆地域で活躍する企業の方へ、インタビューVOL.5◆

地域支え合い推進員は、様々な企業と連携して支え合いのまちづくりをしています。地域貢献をしている企業をみなさんに知ってもらいたいと思い、小牧市で地域貢献活動をされている企業を紹介しています。今回は、昨年の12月から子ども食堂へ冷凍食品の提供を開始した、入鹿出新田に倉庫がある横浜冷凍(株)小牧物流センターの成瀬さんと横井さんにお話を伺いました。



食品提供合意書締結式 (左)社協：澤木常務理事兼事務局長  
(右)横浜冷凍(株)：江夏中京・東海ブロック長兼小牧物流センター所長

実際に子ども食堂への食品提供を開始されて、成瀬さんと横井さんは、「子どもさんたちに喜んでもらえている」「調理後の写真とともにたくさん笑顔を見ることができている」とお話しくださいました。

また、寄付をするにあたり気をつけていることは、賞味期限切れや破れ等がないかの確認を行っているそうです。



食品受け渡し (左)横井さん  
(右)子ども食堂「おっさんず Reborn！」代表古澤さん

横浜冷凍(株)小牧物流センターが、子ども食堂へ冷凍食品の提供を始めたきっかけは、横井さんの「余剰の冷凍食品を活用し、地域貢献をしたい」という思いからでした。そこで、社会福祉協議会にご相談いただき、どのようなかたちで地域貢献ができるかを共に考え、子ども食堂への提供に繋がりました。



(左から)成瀬係長、横井さん、山田さん

今後について成瀬さんと横井さんは、「周りのお客様にも声をかけ、地域貢献の取り組みが広まっていくといい」「食品ロスの減少に繋がればいいと思う。なるべく続けられるよう、力になっていきたい」とお話しくださいました。

これからも企業連携を通して、地域活動がより活性化していけるよう、地域支え合い推進員もご支援させていただきます。